

教員の養成に係る教育の質の向上に係る取り組みに関すること

本学幼児教育・保育科では、幼稚園教二種免許状と保育士資格の取得を課程認定で取得できる科である。この取得については、建学の精神を基礎としながら、教育の質向上に努めている。

本学の建学の精神は学校法人藤ノ花学園創立者が主唱した「誠をもって勤儉譲を行え」である。勤勉と節約によって得たゆとりを自分の為だけでなく、社会貢献のために活かすことを教えている。この建学の精神を基に、学則 3 条第 2 項に幼児教育・保育科の教育目標を定めている。その教育目標は、「豊かな感性と高い専門職意識、時代の変化に適応できる柔軟性や実践力を兼ね備えた保育者の育成を目標とする」として明示している。

具体的には、入学後「保育者のライフデザイン」の 1 コマを学長が担当し、建学の精神に関する講義を行う。その後、卒業必修とする「保育者のキャリアデザイン I」を通し、社会人としての基礎力、保育者としての基礎力が身につくようなカリキュラムを準備している。

幼児教育・保育科科会においても必要に応じて教育目的・教育目標について議論を行い、教員間の共通理解を図り、教育目的・教育目標の点検できる体制を敷いている。

また、建学の精神に含まれる社会貢献という観点から、地域の保育ニーズに応えるために、アンケート調査も実施し、さらに近隣のステークホルダーによる外部評価を毎年受けている。また、隔年で実習関係の懇談会を開催し、定期的に協議・検討している。

教育の質向上のために、平成 26 年度から GPA 制度の導入し、学生の学修（習）状況を把握するように努めている。学修（習）成果を一定期間内で獲得するために、「履修案内」には、カリキュラムマップとカリキュラムチャートを明示し、シラバスには、毎回実施する授業内容を「授業計画」が記載されており、一定期間内に段階を経て学修（習）していく道筋を理解できるようになっている。このシラバスには、「到達目標」に達するための要件を示し、授業各回の「事前事後学修」の内容を併せて示している。

このシラバスについては、すべての教員（非常勤講師を含む）がシラバス作成を行う際に、幼児教育・保育科のカリキュラムチャートやカリキュラムマップを理解し、本科のカリキュラム全体を俯瞰し、該当科目の「位置」を確認し、学修（習）者が適切に学修（習）できるように努めている。

この一連の運用から導かれる学生の学修（習）成果については、教務課・教務委員会が成績評価や資格取得、授業評価アンケートを実施し、常に点検を行っている。

教育の質向上・充実のための PDCA サイクルは、合同 FD 委員会が中心となり、全学教員向けの FD 講習会、教職員向けの SD 講習会が改善活動として実施されている。また、本学では、2019 年度より「授業改善のための PDCA サイクルチェックシート」を作成している。そのチェック項目の中で「授業評価アンケート」や成績分布を体系的に明記し、課題の発見や改善計画につなげ、教員の養成に係る教育の質の向上に努めている。